

川崎市長選挙(10/27投開票)

福田のりひこ氏が当選

(事務局)

2週間にわたった川崎市長選挙も終わり、福田紀彦さんが当選されましたね。

(堀添)

はい。民主党としては秀嶋善雄さんを推薦しましたが、2858票の僅差で当選することができませんでした。ご支援くださった方々に感謝するとともに、結果につなげられなかったことをお詫び申し上げます。

(事務局)

今回の選挙を振り返って、どのように感じられましたか。

(堀添)

前回と比較してもさらに投票率が低下したことで明らかなように、市長選挙に対する関心を高めてもらうことができなかった点がとても残念であり、力不足を痛感しました。

その原因はいろいろとあると思いますが、政策面での議論が十分でなく、各候補者によって川崎市がどう変わるのか、という点を明確にできなかったことも大きいと思います。たとえば保育所待機児童問題や中学校給食などの主要政策は3候補とも重なる部分があり、有権者から見て政策上の違いがわかりづらかったのかもしれない。

主要政策が重なり合っているということは、市政の課題に対する共通認識があるという面では良いのですが、逆に言えば政策面で有権者の琴線に触れるものを打ち出すことができなかったということではないかと思っています。



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 民主党神奈川18総支部 常任幹事
- 民主党神奈川県政策委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住

有権者の琴線に触れるものを打ち出すことができなかったということではないかと思っています。

(事務局)

今回の選挙結果では区による違いも目立ちました。

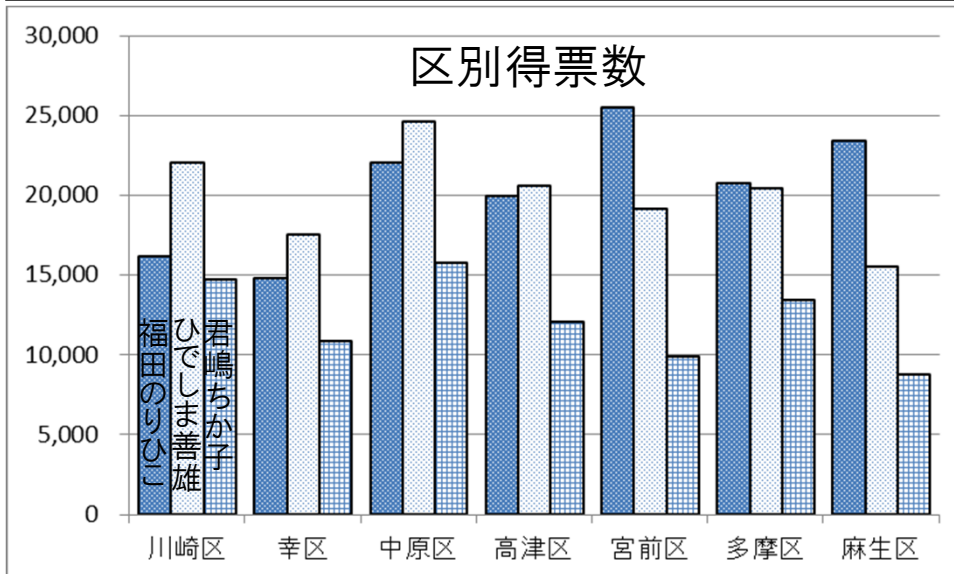
(堀添)

川崎区、幸区、中原区では秀嶋さんが、宮前区と麻生区では福田さんが勝っており、高津区と多摩区ではほぼ互角の結果でした。行政区によってこれほど大きな差が出た市長選挙は初めてだと思いますが、単に候補者の地盤の違い、ということだけが理由ではないかもしれません。

(事務局)

ありがとうございました。

当 福田のりひこ	142,672票(38.77%)	高津区19,949票(37.89%)
ひでしま善雄	139,814票(38.00%)	高津区20,624票(39.17%)
君嶋 ちか子	85,475票(23.23%)	高津区12,075票(22.94%)
投票率 全市	32.82%(前回36.09%)	高津区:30.67%(前回33.42%)



川崎市における放射線測定結果(10月30日現在)

浄水場：川崎市内の2か所の浄水場では、毎日放射能測定を行っていますが、一昨年4月22日以降、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも検出されていません。

大 気：環境総合研究所、中原大気測定局、麻生大気測定局で、放射線量実態調査を毎月行っており、地上5cm、50cm、100cmとも自然界の放射線レベルの範囲内です。
(10月は7日に実施)

市内農産物：果菜類(トマト、きゅうり)、根菜類(さつまいも、大根、玉葱)、果実(梅、梨、柿)の出荷前チェックでは、一昨年5月に梅(セシウム：29.5ベクレル/Kg)、10月に柿(セシウム：4.5ベクレル/Kg)から検出された以外は、検出されていません。
(食品衛生法上の基準値は一般食品100ベクレル/Kg以下)

水道水：不検出

下水汚泥等：入江崎総合スラッジセンター(10月15日測定) 放射性セシウム測定
脱水汚泥：不検出 汚泥焼却灰：475 Bq/Kg
(焼却灰は飛散防止処理の上、施設内等で安全に保管されています。)

ごみ焼却灰：橋処理センター(9月27日測定) 放射性セシウム測定
主 灰： 38 Bq/Kg
飛 灰：172 Bq/Kg
排ガス： 不検出

**放射線測定器の貸し出しを高津区役所でも行っています。
(電話予約が必要です。044-861-3113)**

連載コラム 川崎と高津の地名 (No.15) 参考：上田恒三著「高津村風土記稿」
日本地名研究所編「川崎の町名」

「子母口」「子母口富士見台」の由来

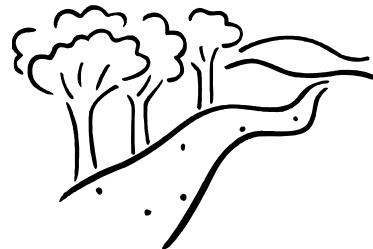
子母口は、元々は「渋口」と呼ばれており、文永三年(1266年)の『岩松右京大夫本領所注文』という文書に「武州春原庄内万吉郷渋口郷」と記載されていますので、かなり古い時代からの地名です。その後、元禄頃に「子母口」となったと考えられています。

地名の由来は諸説あり、シボを谷をあらわす語ととり、矢上川の谷の入口ということから「シボクチ」となったとする説、シボを渋ととり、渋水(鉄分を含んだ赤っぽい水)が目立つ矢上川の水が谷間から広大な多摩川低地に出る口から「渋口」となったという説が

有力ですが、他にも、橋樹神社の御神木から「神木地(シボクチ)村」となった、とする説もあります。

子母口富士見台は、昭和三十年に宅地造成が行われ、子母口と千年の一部を合わせて生まれた新町名です。

この台地上には子母口貝塚をはじめ多くの貝塚や住居跡が発見されており、縄文時代にはすでにかなりの人口集積があったのではないかと考えられます。



毎週、最新ニュースを駅頭でお配りしています。

水曜日 午前7時～8時半 溝口駅南口 / 金曜日 午前7時～8時半 梶が谷駅

政治資金ご寄附のお願い

地元から日本改革を実現するために、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169
銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294